

季節に合わせた環境にやさしい暮らしを

私たちの暮らしは昔に比べ便利で快適なものとなっていますが、それは同時に環境に大きな負荷を与えてきました。

エネルギー（電気・ガスなど）の消費によって発生するCO₂（二酸化炭素）は、異常気象や海面上昇、食糧危機などを引き起こす地球温暖化の主な原因とされています。また必要以上の豊富な商品は大量の廃棄物を生み出し、開発による自然破壊は生態系に大きな影響を与えています。私たちは利便性を追求するあまり、様々な環境問題を生み出してきているのです。

これからの環境問題を解決するために、一人ひとりができることは小さいかもしれませんが、みんなで取り組めば必ず大きな効果を生み出します。これまでのライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らしを実践しましょう。

エコネット平泉講演会の開催について

エコネット平泉では、岩手県地球温暖化防止活動推進員の〇〇〇〇さんを講師に招き、「環境講演会」を開催します。

多くの方々のご参加をお待ちしています。

日 時 平成 26 年〇月〇〇日（〇曜日）〇〇時～〇〇時

会 場 役場 201 会議室

参加費 無料

講 師 岩手県地球温暖化防止活動推進員 〇〇〇〇さん

地球温暖化対策に取り組む会員大募集！

ひらいずみ地球温暖化対策協議会（略称：エコネット平泉）は、住民、事業者、行政が連携し協力しながら、地域での具体的な地球温暖化防止活動に積極的に取り組もうとする団体です。

現在会員を募集しておりますので、地球温暖化対策に関心のある方、これから取り組みを実践してみたい方、どなたでもお気軽にご入会ください。

入会申込書

申込日 平成 年 月 日

個人入会 ・ 団体入会 ※ どちらかに〇をしてください。（年会費：個人会員 500 円・団体会員 1,000 円）

〒 住 所

氏名又は団体(企業)名

団体の場合 代表者名

会員（従業員数） 人

TEL

FAX

E-mail

【申込書提出先】〒029-4192 平泉町平泉字志羅山 45-2（事務局 役場町民福祉課内）

ストップ! 温暖化 ecoひらいずみ

ひらいずみ地球温暖化対策協議会
(略称: エコネット平泉)
事務局 平泉町役場町民福祉課内
tel:0191-46-5562
fax:0191-46-3080
mail:chomin@town.hiraizumi.iwate.jp

平成25年度の活動から

講演会の開催



9月12日、役場2階201会議室を会場に、岩手県地球温暖化対策防止活動推進員の高橋功氏(滝沢村)をお迎えし、「家電のかしこい使い方」と題して講演会を開催しました。

ダンボール模型などを用い、生活に欠かせない家電製品の使い方について、ちょっとした工夫により節電効果が上がることなど紹介されました。

各家庭の事情に合わせた『できる範囲内』での省エネ・節電活動など、もう一度、エコスタイルを見直してみてもいいかと述べられていました。

研修会の実施

1月27日、環境保全活動を推進している「トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場(金ヶ崎町)」「工藤建設株式会社(奥州市)」の視察研修を実施しました。

◆トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場

会社の理念である「クルマづくり、モノづくりを通じて地域・社会に貢献していく」という強い姿勢を感じさせられました。環境面では夏場の電力不足対策として、この地域ならではの試みも採り入れられていました。「雪山による冷房システム」で、冬場に積もった雪を集め、雪解け水を事務棟に送り冷房効果につなげているそうです。広い敷地内の除草を十数匹のヤギにしてもらうなどのほのぼのとした取り組みもありました。



◆工藤建設株式会社



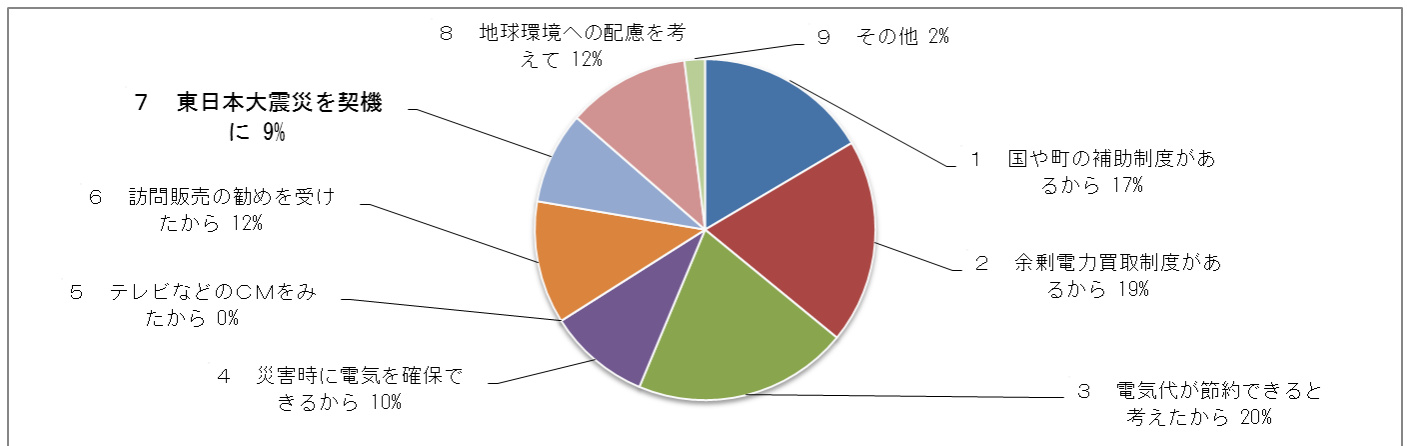
ドイツや北欧で実用化されている高性能な省エネルギーの建物「パッシブハウス」に、再生可能エネルギーを合理的に利用したシステムを導入したモデルハウスを視察しました。この地域では年間1,000リットルの灯油が必要でしたが、地中熱利用空調システム、全熱交換換気システムなどを導入し、本モデルハウスの場合、暖房に必要なエネルギーは灯油に換算して約20リットルで済むことになるそうです。また、お風呂の蛇口が4本あり、それぞれ太陽熱、薪ボイラー、井戸水、上水道で、口に入れない水(井戸水)はトイレ、洗濯、風呂などに使っているそうです。これからの家づくりは、しっかりエネルギーの問題と向き合うべきではないかと訴えておりました。

太陽光発電システム導入に関するアンケート調査結果

平成22年度～24年度に町の補助金を受けて太陽光発電システムを導入された皆様のご意見をいただきました。（補助金交付申請者39人中34人より回答）

太陽光発電システムを導入した「きっかけ」は何ですか？（該当全てに○印）

- 1 国や町の補助制度があるから（17人）
- 2 余剰電力買取制度があるから（20人）
- 3 電気代が節約できると考えたから（21人）
- 4 災害時に電気を確保できるから（10人）
- 5 テレビなどのCMをみたから（0人）
- 6 訪問販売の勧めを受けたから（12人）
- 7 東日本大震災を契機に（9人）
- 8 地球環境への配慮を考えて（12人）
- 9 その他（2人）

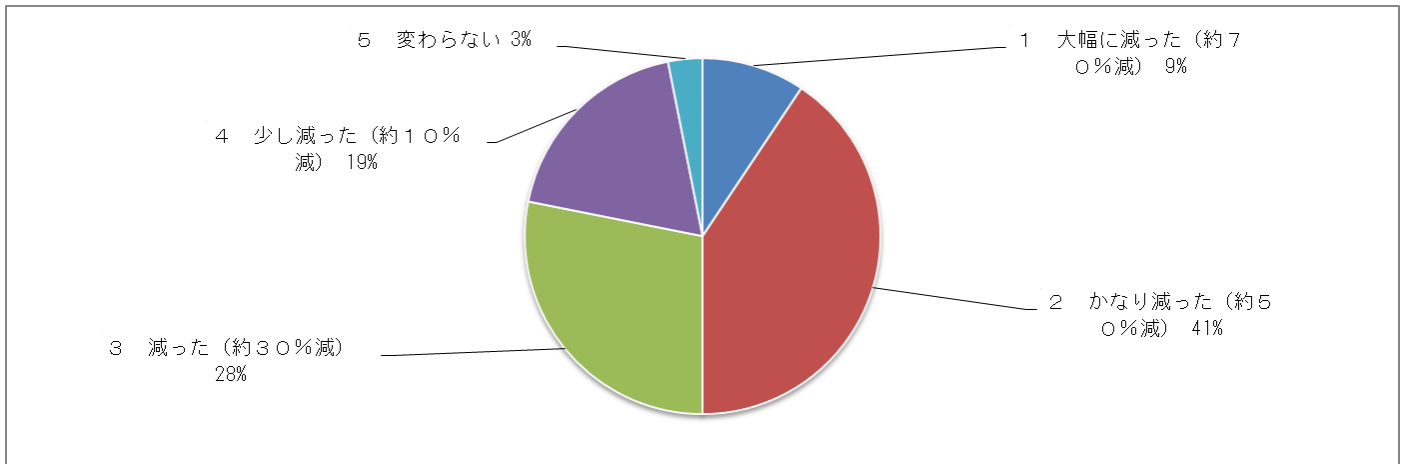


太陽光発電システムの導入を決定した理由は、「電気代が節約できる」が最も多く、次いで「余剰電力買い取り制度があるから」が多い結果であった。このことから、導入者の多くは、電気代の節約、売電収入など経済面への期待が大きいものと思われる。

太陽光発電システム導入後、家庭の電気代に変化はありましたか？

（一つだけ○印）

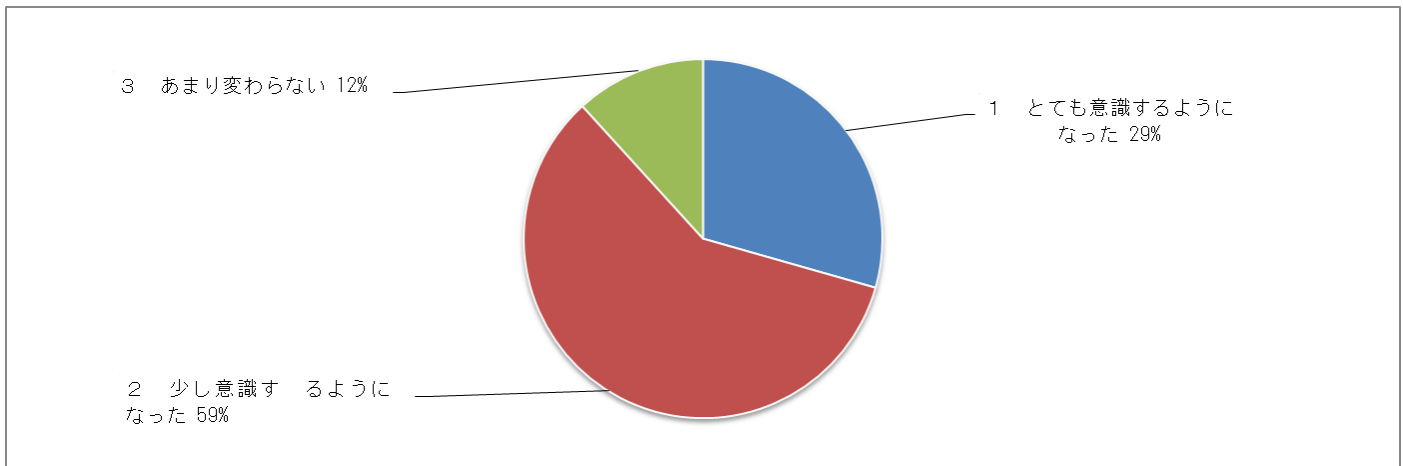
- 1 大幅に減った（約70%減）（3人）
- 2 かなり減った（約50%減）（13人）
- 3 減った（約30%減）（9人）
- 4 少し減った（約10%減）（6人）
- 5 変わらない（1人）



太陽光発電システムを導入したことにより、ほとんどの方が、家庭の電気量が減ったと回答しており、電気代の節約につながっているものと窺える。

太陽光発電システム導入後、家族の省エネ・節電に対する意識は変わりましたか？
(一つだけ○印)

- 1 とても意識するようになった (10人)
- 2 少し意識するようになった (20人)
- 3 あまり変わらない (4人)



太陽光発電システムを導入したことにより、約9割の方が、省エネ・節電に対し意識するようになったと回答している。

今回のアンケート結果より、太陽光発電システム導入のきっかけは、環境面よりも経済面への期待が大きかったものの、導入後、省エネ・節電へ取り組むようになり、環境意識が向上したことが窺えます。



住宅用太陽光発電システム補助について

国	岩手県	平泉町
システム価格 2万円～41万円	20,000円	20,000円
システム価格 41万円～50万円	15,000円	
	30,000円 (被災家屋のみ)	

(平成25年度1kWに対し、いずれも出力10kW未満)